

施設園芸でのハイテク農業を推進します

～栽培技術の高度化をめざして～

1 考え方

当地域は、いちご、きゅうり、なす等の野菜や、カーネーション、ばら、観葉植物等の花きを主体とした施設園芸が盛んです。今後、さらに高品質、高生産性農産物を低コストで生産するため、高設栽培や養液土耕栽培等による栽培技術の高度化を推進します。

また、安全な農産物を提供するため生産履歴のデータベース化を図ります。

2 具体的な取り組み

いちごの高設栽培は、今年度6戸が導入し、地域の中核農家119戸へと拡大普及しました。技術的にも栽培管理マニュアルに基づく指導により省力化と高生産を実現しました。

促成なすの養液土耕栽培では、リアルタイムに栄養診断を実施し、生育ステージごとの適正な栄養状態を明らかにして、高度な管理技術を確立しました。また、カーネーション、菊では高品質生産を目的に生育に適した土壌の物理性改善を進め、養液土耕栽培技術の高度化を図りました。

J A 西三河促成きゅうり部会では、簡易ECメーターを用いた肥培管理技術の普及できゅうりの多収穫栽培を確立しました。

ばら栽培では、ヒートポンプエアコンを導入し、重油使用量の削減と夏季の品質向上に成果を上げています。

J A あいち中央碧南営農センターに、にんじん及びサラダたまねぎの生産者の出荷日時及びほ場を特定できるトレーサビリティシステムと異物混入を防ぐ金属探知器をセットした新箱選別ラインが導入されました。



腰を伸ばした姿勢で作業できる高設栽培（安城市）



ヒートポンプエアコン本体（西尾市）

3 今後の方針

いちご高設栽培の収量性を高めるために、養液管理技術の向上を目指します。

高設栽培や養液土耕栽培の導入推進を図るとともに、導入農家に対し栽培技術の向上を指導します。

環境保全型農業を推進します

～信頼性の高い産地づくりをめざして～

1 考え方

環境に配慮した環境保全型農業を関係機関・団体と連携しながら推進し、地域へ環境保全型農業技術を速やかに普及させます。さらに、環境保全型農業を推進するリーダーとして「エコファーマー」の認定を推進します。

また、環境保全型農業の取り組みを消費者へアピールし、消費者から信頼される産地づくりを目指します。

2 具体的な取り組み

12月に管内市町、農協を対象に西三河地域環境保全型農業推進会議を開催し、環境保全型農業技術の普及に努めました。

エコファーマーの認定者は、水稻、小麦、施設野菜（きゅうり、なす）、露地野菜（夏秋なす）の農家197名を認定しました。

消費者の安全・安心な農産物を求める声に応えるため、JAあいち中央チンゲン菜部会とJAあいち三河額田夏秋なす部会は、農産物環境安全推進マニュアルを導入し、産地版シートを基に消費者ニーズに対応する活動を展開しています。また、幸田町夏秋なす部会も取組を始めました。

○茶では、肥効調節型肥料を用いた施肥改善を推進し、施肥量の削減を図りました。また、西尾市では茶園の樹下点滴施肥栽培に取り組み、大幅な施肥量削減の技術を実証しました。

大豆では、JA西三河農作業受託部会西尾支部において、ハスモンヨトウのフェロモントラップの集団利用から農薬散布の削減を図りました。



大幅な減肥が可能な点滴施肥装置（西尾市）

3 今後の方針

農地・水・環境保全向上対策を推進し、人と環境に優しい農業を推進します。

生産者と実需者との連携活動を支援します

～地域内流通の促進のために～

1 考え方

地産地消の裾野を広げる生産者と実需者による地域内流通として、多様な利用（漬物、菓子や飲料類等）が考えられ、地産地消特産品づくりも視野に入れた積極的な取組みが期待されます。

2 具体的な取り組み

○農村女性起業セミナーや経営管理のコンサルテーションを実施し、やる気・知恵・技を生かした魅力ある商品開発や効果的な販売方法を支援しました。

ぶどうソース（岡崎市駒立果樹振興会）、ベーグルパン（岡崎市、ベーグル庵）の商品は、地域に認識され、販売は順調に推移しています。

今年に商品開発した「みそたれ」（岡崎市、蔵っ工）やむらさき芋大福（幸田町、鈴木）について支援をしました。

現在、輝きネット額田で健康野菜のエゴマに着目し、その商品開発を進めています。また、安城市の特産いちじくについても商品開発を進めます。



ぬかた味噌、みそたれ（岡崎市）



むらさき芋大福（幸田町）

3 今後の方針

○女性起業家や食品加工業者と連携し、地産地消特産品づくりの普及促進を図ります。

三河材の認証制度を推進します

～ 森林づくり・木づかい（三河材利用）のために～

1 考え方

認証制度により地域で産出される木材を地元で使うことは、輸送に係るCO₂排出量の低減や、地場・木材産業の活性化など、環境面や経済面で大きなメリットがあるだけでなく、地域材の消費が増加することから森林の整備が進み、環境保全にもつながると考えられます。

また、消費者にとっても生産者との結びつきが強くなることで、品質面での安心感が高まることが期待できます。

2 具体的な取り組み

額田町森林組合、額田木材製材業組合等で構成される三河材(額田産)認定委員会の運営に対する指導・助言を行いました。

「愛知県産材（三河材）の認証制度のためのガイドライン」に基づく、三河材の認証を推進しました。

パンフレット類の作成を指導し、各種イベントにおいて消費者へ配布するなどの普及啓発を行いました。



岡崎市内



三河材（額田産）認定材

認証材による家づくり

3 今後の方針

全県レベルの認証制度運用機関の立ち上げを、今年度上半期を目処に検討を行います。

認証材生産コストの削減と安定供給体制を整備して、認証材を取扱う工務店での利用を促進していきます。

農業水利施設の多機能化を図ります

～災害に強く、水と親しめる環境の創造をめざして～

1 考え方

当地域の基幹的農業水利施設である明治用水や矢作川用水などがパイプライン化されたことにより、水路敷地上部を有効利用出来るようになりました。

また管内の随所に、ため池や排水機場など数多くの農業水利施設が存在しており、農産物や農地とともに周辺集落を自然災害から守っています。

これらの施設整備を推進するのはもちろんのこと、農業水利施設の多面的機能について地域住民の理解を深めるとともに次世代へ継承する必要があります。

2 具体的な取り組み

たん水防除事業の役割などについて理解を深めていただくため、工事実施箇所の地域住民や小学校の児童を対象に工事現場の見学会を実施しました。

第9回明治用水緑道ウォーキング大会を共催し、ルートに設けたチェックポイントで農業農村整備事業全般の紹介や、地域に水を供給する農業水利施設のパネル展示を行うとともに、パンフレットを配布して啓発を図りました。

水の週間(毎年8月1日から1週間)に開催された「あいちの農業用水展」に参加し、来場者にビデオ放映や展示パネル等を説明することにより、農業用水の多面的機能について理解を深めていただきました。

安城市制55周年記念事業「安城方式と呼ばれたほ場整備」特別展を後援し、パネル展示などにより啓発を図りました。

3 今後の方針

事業実施に当たっては、関係者との連絡調整を密に行い、円滑な事業実施と効果の早期発現に努めます。

農業水利施設の多面的機能や活用方策について、引き続き広報活動を行って理解を促すとともに、利活用に対する支援を行います



工事現場の見学会
(たん水防除事業 岡崎鹿乗地区)



緑道ウォーキング(安城市)
(明治用水を歩き、多面的機能を体感)

干潟造成により有用貝類の漁場を保全します

～ 青く豊かな三河湾の再生のために～

1 考え方

三河湾の干潟は、有用貝類などの成育場であり漁業生産上も重要な場所です。また、生活排水等の流入による水質悪化に対応する環境浄化の場所となっています。

こうした役割を果たす天然干潟の保全とともに、人工干潟・浅場を継続的に造成していく必要があります。

しかしながら、干潟・浅場造成用の良質な砂は入手が困難となりつつあるため、今後は造成材としてダム堆積砂の利用や砂に替わる造成基質についても検討を進め、継続的な干潟・浅場造成に取り組んでいきます。

2 具体的な取り組み

2007年度には、一色町及び吉良町地先に6haの干潟・浅場を造成しました。

実施時期 平成19年6月～平成19年10月

3 今後の方針

造成された干潟・浅場での有用貝類の成育調査を継続的に実施するとともに、海域の浄化及び漁業生産向上のため、2010年度までに全体で27haの干潟・浅場を造成します。

また、干潟・浅場造成用の良質土砂が入手困難となっているため、ダム堆積砂やその他の造成基質の利用についても検討していきます。



造成中の浅場（吉良町）